

(特非) 気候ネットワーク

2050年低炭素ビジョン実現プロジェクト

イベントの延べ参加者数	500人
助成活動がメディアに掲載された回数	10回
活動の全体目標に対する達成度	25%



シンポジウム開催の様子 (2015.05.30・京都)

◆成果と工夫したポイント

- 成果** 京都・東京を中心に、セミナーやシンポジウムを計8回開催し、延べ500人の参加があった。また、助成活動における調査・研究に基づいて得た知見を、スタッフが講演や会議等で発信を行い、延べ1万人以上に伝えた。
- 工夫** 他のNPO/NGOだけでなく、行政とも連携しながら企画を開催することで、参加者層の拡大につなげた。

課題

NPO・NGOによる2050年温室効果ガス削減シナリオの実現性や、達成のための道筋が明らかになっていないことから、その土壌づくりを推進させる活動を行う。

活動内容

地球温暖化問題が深刻化する中で、市民の理解を広げるとともに、マスメディアや政策決定者に対して、削減シナリオを軸とした具体的な対策と、政策に関する情報提供と意見交換の場を設ける。また、先進事例を取りまとめ、情報発信等を通じて、2050年温室効果ガスの大幅削減へ向けた道筋を、明確化へとつなげる活動を実施している。



ワークショップの様子 (2016.02.20・金沢)

今後の課題

- ・2050年温室効果ガス大幅削減へ向けた道筋のさらなる可視化(しっかりと伝えること)。
- ・国内における温暖化対策のさらなる強化(削減目標の上方修正など)。
- ・先進事例の発信と、その普及。